美容医療賠償保険 事故受付シートのご利用について

◎事故のご連絡はFax送信もしくはWebサイトからお願い致します。

ご連絡いただく際に患者様より個人情報や診療記録・検査記録等の提供・調査に関する同意書のお取りつけをお願いしております。同意書をお取りつけいただいた後、事故受付サイトまたは、事故受付シート(同意書あり)をFax送信いただきご報告ください。

保険会社で確認した後、ご担当者様宛にご連絡を差し上げ、その後の対応について お打ち合わせさせていただきます。なお、お電話による事故の受付は、お受けしており ませんのであらかじめご了承ください。

また、同意書のお取りつけが困難な状況で、Fax送信にてご報告いただく場合は、事故受付シート(同意書なし)にてご報告をお願い致します。同意書のお取りつけは、お客様に代わり弁護士が行います。この場合は、すぐさま弁護士対応となりますのであらかじめご了承ください。Fax専用の事故受付シートは、同意書「あり」と「なし」の2種類ご用意しております。お間違えのないようご注意ください。

- ・弁護士委任前に患者様と金銭等支払うお約束は、その後の示談に支障をきたす 恐れがありますのでお控えください。
- ・事故受付サイトは下記をご覧ください。

◎ご連絡後の対応

弁護士がご対応

当保険により示談交渉サービスがご利用いただけますが、保険会社は直接示談を行いません。示談交渉は、美容医療に精通している保険会社提携弁護士に委任いただき行います。クリニック様の選任弁護士に委任いただくことも可能です。だだし、弁護士費用は保険会社の弁護士報酬規定に基づきお支払いしますので、保険会社提携弁護士に委任いただかない場合は、弁護士報酬の一部を、お客さまにご負担いただくこともあります。クリニック様専任弁護士に委任いただく際はあらかじめご相談ください。

賠償金のお支払い

保険会社が調査を行いクリニック側の過失を認めざるを得ない場合は、被害者に賠償金をお支払いいたします。この賠償金は治療費、休業損害や慰謝料等となりますが法律・医療の専門家で構成された審査会で審査を行った上で、損害賠償金を算定し委任弁護士が被害者に提示しお支払いいたします。保険会社・委任弁護士にご相談なく被害者に賠償金(これに類する施術費用の返金など含む)を支払った場合、保険金のお支払いが、できかねる場合がございますのでご注意ください。

ユニバーサル少額短期保険株式会社 事故受付センター

Fax : 0120-345-286 (初回受付)

Webサイト: P C からは http://www.u-ssi.co.jp/jb

タブレットからはQRコードを読込み アクセスしてください。



事故受付サイト PCからは http://www.u-ssi.co.jp/jb

同 意 書

| 医療機関名 | | | 院長 殿 | | | |
|-----------|--------------------|----------------|----------|-------|-------|----------|
| 患者住所 | | | | | | |
| 電話番号 | (|) | _ | | | |
| 患者氏名 | | | | | | |
| 生年月日 | 昭和 | • 平成 | 年 | 月 | 日 | |
| 私は貴院が加え | 人する美容的 | 医療賠償責任保 | 険の保険会社 | (その保険 | 食会社が才 | を任した |
| 者を含む) に対し | ン、保険事 ^お | なおよび保険金 | 支払の有無を | 判断するた | こめの材料 | 斗として |
| 診療記録•検査語 | 記録等を提供 | 共すること、お | よびそれに基 | づく傷病内 | 内容につい | ヽての調 |
| 査・確認に応じる | ることに同意 | 意いたします。 | | | | |
| | | | 令和 | 年 | 月 | 日 |
| (同意者) | | | | | | |
| 住 所 | | | | | | |
| 電話番号 | (|) | <u> </u> | | | |
| 氏 名 | | | | | | <u> </u> |
| 患者との続柄 | : 本人 その他 | | 親権者 | 法定 | 相続人 | |

御中

患者様の同意書ありの場合

受付番号 US- -□□□(会社記入欄)

FAX: 0120-935-940

【美容医療賠償責任保険専用】 事故受付シート

| (ご報告者様 へお願い) | • 事故報告 | が遅延し、事 | 故の発生が | 代況が明らかて | ない等の対 | なご報告をお願 場合には保険金 | 金の支払ができ | | | 受付者名 | 責任者 |
|-------------------|---|---|-------|---------|--------|---------------------|----------------|------------------|-----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 《太枠内のみ | | | 金の文払に | -関してヨ事名 | 间での約5 | 束はなさらない | はつの限い | ン ま り。 | | | |
| 事故受付日 | | 年 | 月 | В | 時 | 分 | 報告 | 者名 | | | |
| 事故報告者 | □契約者 | □代理店□ | つその他 | (| |) | 連絡先 | (電話) | | | |
| 証券番号 | | | | | | | | | | | |
| フリガナ | | (| |) | | | 都。 | 道 | 市・ | 区 | |
| 名称 医療施設 | 名称 | | | | | 住 所 | 府• | ! | 郡 | | |
| | | | | | | Tel | | | Fax | | |
| 担当医名 | | | | 施術者名 | (*) | | | | i・歯科医師・看i 資格を有している | | |
| 手術または 処置名 | | | | | | 施術年月日 | | 年 | 月 | В | |
| クレーム | クレ・ | ーム受付年月 | 10 | | | 年 | | 月 | E | 3 | |
| 内容 | 具体的 | りなクレームに | 力容 | | | | | | | | |
| | フリガナ | (| |) | | | 都。 | · 道 | 市・区 | | |
| | 氏名 | | | · | | 住 所 | 府• | 県 | 郡 | | |
| 患者 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | 性別(男・ | | E年月日(| 年 月 | | Tel | 都・ | · ' 苦 | 携帯 | | |
| | フリガナ 氏名 | | |) | | 住 所 | 和· 府· | | 市•区 郡 | | |
| クレーム | | | | | | 12 //1 | ,,5 | 711 | ПР | | |
| 申立人 | 患者との関 | 関係 (| |) | | | | | | | |
| | 性別(男・ | • 女) 年 | 下齢 約(|) | 轰 | Теl | | | 携帯 | | |
| | クレーム | | | | | ると思われま ^っ | | . キ オ | | (はい | ・いいえ) |
| | クレーム ・クレームの原因について、あてはまる番号すべてに〇印をお願いします 1. 施術のミス 2. 指示命令のミス 3. 技術不足 4. 施術知 | | | | | | | | 記識の不足 | | |
| | 2010 | | | | | 主観的な不満 | | D他(| | <u> </u> |) |
| | | | | | | 意思確認をし | ましたか | | | | ・いいえ) ・いいえ) |
| | | ・カウンセリングタイムは十分にとりましたか・医師として推奨できない施術を患者が望みましたか | | | | | | | | いいえ)いいえ) | |
| | | ・施術前に、施術に失敗例もあることを説明しましたか | | | | | | | | ・いいえ) | |
| | 施術前の | ・施術の流れ・内容・ダウンタイム(施術~回復までの期間)等について説明しましたか | | | | | | | | | ・いいえ) |
| | 対応につ | ・施術後のケアについて説明しましたか ・万が一失敗した時のケアについて患者に説明し、同意を取り付けましたか | | | | | | | | | ・いいえ) ・いいえ) |
| クリニック | いて | ・ 施術の際は、担当医師が直接施術をしましたか | | | | | | | | | いいえ)いいえ) |
| の見解およ | | ・マシンを使う施術の場合、施術時のメーカー推奨値やガイドラインを守りましたか | | | | | | | | | いいえ) |
| び今までの対応 | | ・使用した「薬剤のすべて」「高度管理医療機器IVに該当する機器(ヒアルロン酸、 | | | | | | | | いいえ) | |
| יטועניג | | | | | | | | | | (10.4 | 0.00,00 |
| | | コラーゲン、縫合糸など)」は、各国の医薬品監督行政機関の許可を受けていますか ・施術時、患者に不安な様子が見られた場合、施術を中止しましたか | | | | | | | | (はい | ・いいえ) |
| | | ・施術に何らかの落ち度があったと思われる場合、患者にそのことを伝えましたか | | | | | | | | | いいえ) |
| | 15-45-5- | | | | | | () - () | | ,,,,,, | | ・いいえ) |
| | 施術時・ 施術後の | ・患者からクレームがあった時に即対応しましたか ・患者からの金銭要求はありましたか | | | | | | | | | いいえ) |
| | 対応につ | | | | | あてはまる | 番号すべては | こ〇印をお | 3願いします | · | . =, |
| | いて | 1. 施術費用 | | | | 3. お見舞金 | | 4. 休業 | | | |
| | | 5. 謝罪文 | | | . その他! | | (| |) | | |
| | | | | | | 金額を記入 | <u>→</u> 1 • 2 | <u>2 •</u> 3 • 4 | · 6 (| | 円) |
| 当社の対処 策に対する | 1. 患者/ | への対応につ | いてアドル | バイスして欲 | しい | 2. 医療過誤 | 呉の有無を判 | 断して欲 | しい | | |
| 東に刈りる | 3. 弁護士 | 上を紹介して | 欲しい | | | 4. その他 | (| | | |) |

患者様の同意書なしの場合

FAX: 0120-935-940

3. 弁護士を紹介して欲しい

要望

受付番号 US-

-□□□(会社記入欄)

受付者名 責任者

「羊宓匠崚旼凒害仁仅除亩田」

| | • | 0120 | 900 | 940 | | | 文田田コ | 5 |
|--------|----------|----------|--------|-----------------|---------|---------|-------|------|
| | | | 【美容 | 医療賠償 | 賞責任保険 | 専用】 | 事故受 | 付シート |
| (ご報告者) | · : 羊 | ・医療調査を実施 | することがま | 5りますので 、 | 事故後速やかな | ふご報告をお願 | いします。 | |

| へお願い) | 事故報告あります | | | | | | | | | | |
|----------------|--|--|---|--|--|---|---|--|------------------------------------|---|----------------------------|
| 《太枠内のみ | ご記入くた | ごさい》 | | | | | | | | | |
| 事故受付日 | | 年 月 日 時 分 | | | | 報告者名 | | | | | |
| 事故報告者 | □契約者 | 口代理店 口 | その他(| (| |) | 連絡先 | (電話) | | | |
| 証券番号 | | | | | | | | | | | |
| | フリガナ | (| |) | | | 都 | • 道 | 市・区 | | |
| | 名称 | | |) | | 住 所 | | · 県 | 郡 | | |
| 医療施設 | | | | | | 12 //1 | | ,,, | 2. | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | Tel | | | ах | | |
| 担当医名 | | | | 施術者名 | (%) | | | | 耐科医師・看護師 名を有している者 | ™・歯科衛生士など、: 話に限ります。 | 法 |
| 手術または処置名 | | | | | | 施術年月日 | | 年 | 月 | В | |
| | クレ | ーム受付年月E | 7 | | | 年 | | 月 | В | | |
| クレーム 内容 | | | | | | ' | | /5 | | | |
| L3.E. | 具体的 | かなクレーム内 | 容 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 患者 | 【お願 | 百し / 】 | | | | | | | | | |
| | | 文· 3人情報係 | ⊋護の | 観占より | Ŋ. ≣ | 見者様か! | う情報 | 望示の 同 | 意を得り | らわ | |
| | | 、場合は、 | | | | | | 70/3 (0) | | J10 | |
| | | は者様が個 | | | | | | がありま | ਰ. | | |
| クレーム | | そのための | | | | | | | | します | |
| 申立人 | | _07/_070 | | | | × 2 0 < 0 | ー上エガキ | المالات | ノルスマーエス・ | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | - . , | | | | | | | | | | |
| | クレームの原因に | ・今回のクレ | ームに関 | して、医療過 | 過誤であ | ると思われます | すか | | | (はい・いいえ) |) |
| | | ・クレームの | 原因につい | ハて、あてに | まる番 | 号すべてにOE | 印をお願い | | 4 + + - / 17 + | |) |
| | ついて | ・クレームの 1. 施術の | 原因につ(ミス | ハて、あてに 2.指示命 [:] | まる番 令のミス | 号すべてにOE K | 印をお願い 3. 技 | 析不足 | 4. 施術知識 | |) |
| | | クレームの1. 施術の5. 設備・ | 原因につ(ミス 機械の不! | ハて、あては 2.指示命 [:] 具合 6. | まる番 令のミス 患者の | 号すべてにOE | 印をお願い 3. 技 7. そ | 析不足 | 4. 施術知識 | 戦の不足 |) |
| | | ・クレームの 1. 施術の 5. 設備・ ・インフォー ・カウンセリ | 原因につい ミス 機械の不り ムドコン・ ングタイク | ハて、あてに 2. 指示命: 具合 <u>6.</u> セントによる ムは十分にと | ままる番 令のミス 患者の あ患者の こりまし | 号すべてに()E な 主観的な不満 意思確認をしま たか | 印をお願い 3. 技 7. そ | 析不足 | 4.施術知詞 | 戦の不足 (はい・いいえ (はい・いいえ |)) |
| | | ・クレームの 1. 施術の 5. 設備・ ・インフォー ・カウンセリ ・医師として | 原因につい ミス 機械の不り ムドコン・ ングタイル 推奨できる | ハて、あてに 2. 指示命: 具合 6. セントによる ムは十分にと ない施術を患 | ままる番 令のミス 患者の あ患者の こりまし ほ者が望 | 号すべてにOE な 主観的な不満 意思確認をしま たか みましたか | 印をお願い 3. 技 7. そ | 析不足 | 4. 施術知識 | (はい・いいえ)(はい・いいえ)(はい・いいえ)(はい・いいえ) |))) |
| | | ・クレームの 1. 施術の 5. 設備・ ・インフォー ・カウンセリ ・医師として ・施術前に、 | 原因につい ミス 機械の不り ムドコン・ ングタイプ 推奨できる 施術に失り | ハて、あてに 2. 指示命: 具合 6. セントによる ムは十分にと ない施術を想 数例もあるこ | はまる番 令のミス 患者の る患者の こりまし き者が望 ことを説 | 号すべてに〇E 大 主観的な不満 意思確認をしま たか みましたか 明しましたか | 印をお願い 3. 技 ⁱ 7. そ ⁱ ましたか | ボ不足 の他(| | 戦の不足 (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ |))))) |
| | のいて | ・クレームの 1. 施備の 5. 設備・ ・インフォセ・ ・カウンとして ・施術の流れ | 原 ミ 機 | ハて、あてに 2. 指示命: 具合 6. セントによる ムは十分にと ない施術を 数例もあるて ダウンタイム | はまる番 令のミス 患者の も も も も も も も も と に を 施 る に き し き し た の き し た の も た り た り た り た り た り た り た り ん ん ん ん ん ん | 号すべてにOE な 主観的な不満 意思確認をしま たか みましたか | 印をお願い 3. 技 ⁱ 7. そ ⁱ ましたか | ボ不足 の他(| | 戦の不足 (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ |))))) |
| | 施術前の対応につ | ・クレームの 1. 施備・ 5. 設オー ・インンンセして ・施術の流れ ・施術後のケ | 原ミ機ムン推施・アスがでいる。 | ハて、あては 2. 指示命: 具合 6. セントに分にとる ない施あるこ なりウンタしまし て説明しまし | はまる番 令のミス も も も も も さ り 者 を 施 さ し た た た た た た た た た た た た た た た た た た | 号すべてに〇E 大 主観的な不満 意思確認をしま たか みましたか 明しましたか | 印をお願い 3. 技 7. そ ましたか 期間)等に | ボ不足 <u>の他(</u> ついて説明し | | 戦の不足 (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ |))))) |
| クリニック | のいて | ・クレームの 1. 施備・ 5. 設オー ・インンンセして ・施術の流れ ・施術後のケ | 原ミ機ムン推施・アして、 不りでは、 のコタでに容つ時でに容つ時のの | ハて、あてに 2. 指示命: 具合 6. セントに分にと とない はい を 数例も あくし まい で が で だ で に た に た に た に た に た に た に た に た に た に た に た に た に も の に も の に も の に も の に に の に に に の に に に に に に に に に に に に に | まる番りの ままる まって ままの ままの きょう おっと できままが を施か 者に いき | 号すべてにOEAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA | 印をお願い 3. 技 7. そ ましたか 期間)等に | ボ不足 <u>の他(</u> ついて説明し | | 献の不足 (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ |)))))) |
| の見解およ | 施術前の対応につ | ・クレームの 1. 設フンンと前のの・ ・カウのの・ ・カウのの・ ・ を施術の後ので ・ 施ので ・ たんがのので ・ たんがいるので ・ たんがいる ・ たんがい。 ・ たんがいる ・ たんがいる ・ たんがいる ・ たんがい。 ・ たんがい。 ・ たんがい。 ・ たんがいる ・ たんがい。 ・ たんがい。 ・ たんがい。 ・ たんがい。 ・ たんがいる ・ たんがい。 ・ たんが、 ・ たんがい。 ・ たんがい。 ・ たんがい。 ・ たんがい。 ・ たんがり ・ たんがい。 ・ たんがし。 ・ たんが ・ たんがい。 ・ たんがい。 ・ たんがい。 ・ | 原ミ機ムン推施・アし、因ス械ドグ奨術内にた担にのコタでに容つ時当に容の時当 | ハて、あてに 2. 指 6. 2. 指 6. セントに分にといい。 ないのではいいもかりがいい。 ないがいがいがいがいがいがい。 ないがいがいがいがいがいがいがい。 ないできるできるできますが、 ないできますがい。 ないできますが、 はいできますが、 はいできますが、 はいできますが、 はいできますが、 はいできますが、 はいできますが、 はいできますが、 はいできますが、 はいがいが、 はいがいがいますが、 はいがいがいがいがいがいが、 はいがいがいがいがいがいがいが、 はいがいがいがいがいがいがいが、 はいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいが、 はいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいが | ままる番ラスの 悪書 まる まる まる ままる まままま がまま がまま がまま しまま はまま はまま はまま はまま はままま はま | 号すべてにOEAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA | 印をお願い 3. 技 7. その ましたか 期間)等に を取り付け | ボ不足 <u>の他(</u> ついて説明し ましたか | ましたか | 職の不足 (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ | |
| | 施術前の対応につ | ・クレー 15. フリー | 原ミ機ムン推施・アし、 う因ス械ドグ奨術内にた担 施に のコタでに容つ時当 術の 医の | いて、 2. () () () () () () () () () (| まつのでは、またのでは、まのまでは、まの者と、いうでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、 | 号すべてにOE (主観的な不満 意思確認をしま たか みましたか 明しましたか 一回復までの 説明し、同意な したか | 印をお願い 3. 技 7. か ましたか 期間) 年取り付け ガイドライ | が不足 の他(ついて説明し ましたか ンを守りまし | ましたか | (はい・いいえ)(はい・いいえ)(はい・いいえ)(はい・いいえ)(はい・いいえ)(はい・いいえ)(はい・いいえ)(はい・いいえ)(はい・いいえ) | |
| の見解およ び今までの | 施術前の対応につ | ・クレーカーのの・・・クレールでは、カーのの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 原ミ機ムン推施・アし、 う 薬因ス械ドグ奨術内にた担 施 剤に のコタでに容つ時当 術 のつ インイき失・いの 医の す | ハて 2合 () () () () () () () () () (| まつのでは、またいでは、まの思想のでは、これでは、まり者と、(たまをのでです。というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ | 号すべてにOEAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA | 印をお願い 3. 技 7. か ましたか 期間) 等 付け インで が が が が が が が が が が が が り で り で り で り | ボ不足 の他(ついて説明し ましたか ンを守りまし くヒアルロン | ましたか たか 酸、 | 献の不足 (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ | |
| の見解およ び今までの | 施術前の対応につ | ・クします。 ・クし、15.2 では、15.2 では、15.2 では、15.3 では、1 | 原ミ機ムン推施・アし、 う 薬 、因ス械ドグ奨術内にた担 施 剤 縫に のコタでに容つ時当 術 の 合つ 不り イき失・いの医の す 糸 | い 2 . 合 . で . と . と . と . と . と . と . と . と . と | まつのでは、これでは、まつのでは、まつのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ | 号すべてに○E (主観的な不満 意思確認をしま たかましたか 明回復までの類 説明し、同意な したか 力一推奨値やな 療機器IVに該 | 印をお願い 3. 技 7. か ましたか 期間) 好 ラ 機関 で け イ る 関のの で は 数のの で は 数のの で で と で と で で で で で で で で で で で で で で で | が不足 の他(ついて説明し ましたか ンを守りまし ンをアルてい 可を受けてい | ましたか たか 酸、 | 献の不足 (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ | |
| の見解およ び今までの | 施術前の対応につ | ・ク1 5. イカ医施施術術が備すせしに流の失際を た ゲ、・カ 5 で は り し っ 時 で は で が で は で が が が が が が が が が が が が が | 原ミ機ムン推施・アし、う 薬、 者因ス械ドグ奨術内にた担 施 剤 縫 ににのコタでに容つ時当 術 の 合 不つ ・ 不 アイき失・いの 医の す 糸 安 | い 2 合 と を ない 2 合 と を ない 2 合 と と ないない 例 つ 説 ア が 合 て ど 様 あ 示 6 よに と あ ひ り み し つ 接 施 「 」 が 見 の は に を る イ ま い で 織 に ほ し に が 続 に ほ に し が 続 に ほ し に が 続 に ほ し に が 続 に ほ し に が に に か に か に か に か に か に と き こ ん し い が が に ほ い で が が に ほ い で が が に ほ い で が が に ほ い に が が に ほ い に が が に は い に が が に は い に が が に は い に が が に は い に が が に は い に が が に は い に が が に は い に が が に は い に が が に は い に か に い か に は い に か に い に か に い に が に は い に か に い に か に い に が に は い に い に が に は い に い に か に い に い に い に い に い に い に い に | まつまるにはなって、おきない。 こうこう こうこう こうこう こうこう はいき こうしょ 田 国 たるこう のいし 望説術 にま 一 医 の 場 | 号すべてにOE 注観的な不満 意思確認をしま たみましたか のましままでの 説明の 説明の 説明の 説明が 関い が が が が が が が が が が が が が | 印をお願い 3. 大き ましたか いちで ましたか いちで は いちで は いちで は いちで は いちで は いちで は いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ | が が が か か か か か か か か か か か か か | ましたか たか 酸、 ますか | 戦の不足 (はい・いいえ) | |
| の見解およ び今までの | が 施術前の 対応につ いて | ・ク1 5. イカ医施施術術が備すせしに流の失際を た ゲ、・カ 5 で は り し っ 時 で は で が で は で が が が が が が が が が が が が が | 原ミ機ムン推施・アし、 う 薬 、 者 か因ス械ドグ奨術内にた担 施 剤 縫 にのにのコタでに容つ時当 術 の 合 不 落つ ・ 不 イき失・いの 医 の す糸 安 ち | い2合 ときている はい とうしょく いっこう いっこう いっこう いっぱい 例う説 アが 合 てい そう あいっち いっぱん あいい いっぱん いっぱん いっぱん にんかん かいりん がったい はん にんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん は | まつのでは、これでは、まの思思い者と(たまをの管各れ思る)を施か者し、メ理国たわり望説術(にまっ医の場れ | 号すべてにOE 注観的な 主観的な 意思な たみまして たみまして である。 ではませい ではませい ではませい ではませい ではませい ではませい ではませい ではませい ではませい ではませい ではませい ではませい ではませい ではませい ではませい ではますが ではままが ではますが ではますが ではますが ではまずが ではまがまがまがまがまが ではまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまが | 印をお願い 3. 大き ましたか いちで ましたか いちで は いちで は いちで は いちで は いちで は いちで は いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ | が が が か か か か か か か か か か か か か | ましたか たか 酸、 ますか | 戦の不足 (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ | |
| の見解およ び今までの | ができます。 施術前にて ・の・の | ・ク15イカ医施施施万施マ 使 コ 施 間 までした。 ンウ師術術術が が が り 用 ラ 術 術 者 者 で を た ゲ 、何 ら らのの・・リて、れケ敗は 使 「 ン 患 ら ク のの・・リーを いった かんが かんがん かんがん かんがん かんがん かんがん かんがん かんがん | 原ミ機ムン推施・アし、う 薬、 者 か レ因ス械ドグ奨術内にた担 施 剤 縫 に の ーに のコタでに容つ時当 術 の 合 不 落 ムつ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | い2.合いな敗ダでケ師場べななきあ、2.合いはい例ウ説アが合てど様がった十腕もン明に直、、」)子あたらよにを満ちりしつ接施「」がっ時ではたを表してい施術高は見たと思るとして補っました思い。 | まつるこれによっておきまった。まの患患り者と(た患をの 管各 れ思対るミ者者まがを施か者しメ 理国 たわ応番 アのい望説術 にま 一医の場れし | 号すべてにOE 注観的な 主観的な 意思な たみまして たみまして である。 ではませい ではませい ではませい ではませい ではませい ではませい ではませい ではませい ではませい ではませい ではませい ではませい ではませい ではませい ではませい ではますが ではままが ではますが ではますが ではますが ではまずが ではまがまがまがまがまが ではまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまがまが | 印をお願い 3. 大き ましたか いちで ましたか いちで は いちで は いちで は いちで は いちで は いちで は いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ いっ | が が が か か か か か か か か か か か か か | ましたか たか 酸、 ますか | (はい・いいえ)(はい・いいえ)(はい・いいえ)(はい・いいえ)(はい・いいえ)(はい・いいえ)(はい・いいえ)(はい・いいえ)(はい・いいえ)(はい・いいえ)(はい・いいえ)(はい・いいえ) | |
| の見解およ び今までの | かいて 施術応いいで ・のつ・のつ | ・ク15イカ医施施施万施マ使コ施施思フンと前の後一のソリー・・のの・・・ののでは、れて、は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で | 原ミ機ムン推施・アし、 う 薬、 者か レ 金 何因ス械ドグ奨術内にた担 施 剤 縫 に の ー 銭 らに のコタでに容つ時当 術 の 合 不 落 ム 要 かつ ・ 不ンイき失・いの 医 の す糸 安 ちが 求 の | い2具セムな敗ダでケ師 場べ なな 度あ は要てて。合うとはい例ウ説アが 合て ど 様が っあ 求あ 「こ分術あタしつ 接施 「 」 が っ時 ま あて命・るときる イまい 術 稿 통 、 しと し たた | ま令 あこまこうして 前寺 きょう これにまの患患り者と(た患をの 管 各 れ 思対 かるミ者者まがを施か者し メ 理 国 たわ応るこののし望説術 (にま - 医 の 場れし | 号すべてにOE 注観的認 意思かまして たみ明〜 説した一機 がまして がまして 明かたで 明た一推器IVに 経薬 施合、 かは を を を を を を を を の の の の の の の の の の の の の | 印をお3.7.か ました り が も 数 は で が も 数 し で が も 数 し で で が し で で と で で で で と で で で で で で で で で で で | が が が で が で が で が で で が で で で で で の の の の で で の の の の の の の の の の の の の | ましたか たか 酸、 ますか か | 戦の不足 (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ | |
| の見解およ び今までの | ができます。 施術前にて ・の・の | ・ク15イカ医施施施万施マ使コ施施制をを施施施万施の中間では、10分ののですが、10分ののですが、10分ののですが、10分ののですが、10分ののですが、10分ののですが、10分ののですが、10分ののですが、10分ののですが、10分ののですが、10分のののですが、10分ののですが、10分ののですが、10分のですが、10分のですが、10分のですが、10分のですが、10分のでは、10 | 原ミ機ムン推施・アし、 う 薬、 者か レ 金 何因ス械ドグ奨術内にた担 施 剤 縫 に の ー 銭 らに のコタでに容つ時当 術 の 合 不 落 ム 要 かつ ・ 不ンイき失・いの 医 の す糸 安 ちが 求 の | い2具セムな敗ダでケ師 場べ なな 度あ は要てて。合うとはい例ウ説アが 合て ど 様が っあ 求あ 「こ分術あタしつ 接施 「 」 が っ時 ま あて命・るときる イまい 術 稿 통 、 しと し たた | ま令 あこまこうして 前寺 きょう これにまの患患り者と(た患をの 管 各 れ 思対 かるミ者者まがを施か者し メ 理 国 たわ応るこののし望説術 (にま - 医 の 場れし | 号すべてにOE 注観的認 意思かまして たみ明〜 説した一機 がまして がまして 明かたで 明た一推器IVに 経薬 施合、 かは を を を を を を を を の の の の の の の の の の の の の | 印をおって、 である。 | が が が で が で が で が で で が で で で で で の の の の で で の の の の の の の の の の の の の | ましたか たか 酸 ますか か します | 戦の不足 (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ | |
| の見解およ び今までの | かいて 施術応いいで ・のつ・のつ | ・ク15イカ医施施施万施マ使コ施施患金・ルー・シウ師術術ががいる、用ラ術術者者銭施調ーを設フンと前の後一のソレー時にかかを術罪ム術備オセしに流の失際をたが、何らら含費文のの・リフ、れケ敗は使「ソ患らクのめ用や | 原ミ機ムン推施・アし、 う 薬 、 者 か レ 金 何 の 念因ス械ドグ奨術内にた担 施 剤 縫 に の ー 銭 ら 返書に のコタでに容つ時当 術 の 合 不 落 ム 要 か 還 のつ ・ 不ンイき失・いの 医 の す 糸 安 ちが 求 の 2 提 | い2員セムな敗ダでケ師場べな」なきあま要し出て.合うとはい例ウ説アが合てど様がっあ求 賠あ示らよにを治あタしつ接施「」がっ時まあ金で命らよにをるイまい施徳高はらとほった。6 | は令 あと思こなして がきき らこ叩き きまの患患り者と(た患をの 管各 れ思対か 場 そるミ者者まがを施か者し メ 理国 たわ応 合 の番 7ののし望説術 にま 一 医の 場れし は 他 | 号 ・ 主 観 部 記 に い ま し の も に の に の ま し の り し の は し の に し も し も し し の に し も し も し も し し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も し も も し も し も も も も も も も も も も も も も | 印 | がかから ボカク | ましたか たか きす か します | ばい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ | |
| の見解およ び今までの | 施術応い施術術応い・のつ・のつ | ・ク15イカ医施施施万施マ 使 コ 施施 患患金 一施設フンと前の後一の ン し 一時にかかを 循った設フンと前の後一の ン し 一時にかかを 循ム術備 オセしに流の失際を た ゲ、何らら 含 費のの・ リて、れケ敗は 使 「ン 患らクのめ用 | 原ミ機ムン推施・アし、 う 薬、 者 か レ 金 何 の 念 た因ス械ドグ奨術内にた担 施 剤 縫 に の ー 銭 ら 返書 場に のコタでに容つ時当 術 の 合 不 落 ム 要 か 還 の 合つ ・ 不ンイき失・いの 医 の す 糸 安 ちが 求 の 2 提は | い2具セムな改ダでケ師場でななきあま要し出該て、合ンはい例ウ説アが合てど様がっあ求 賠いおいけいでいる。」)子あたりが償い番あ示らよにをるイまい施術高は見たにしっ。6666688888888888888888888888888888888 | ま令 るこまころして断き きょうこり こうきょう まの患患り者と(た患をの 管各 れ思対か 場をいる 三者者まがを施か者し メ 理国 たわ応 (合)のの番しののし望説術(にま) 医の 場れし)は、他上 | 号、主意たみ明〜 説しカ 療 医合るま 、 | 印 $\frac{1}{2}$ 数 $\frac{1}{2}$ % | がかから ボカウ | ましたか た 酸 ま か い 賞 6 | 戦の不足 (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ (はい・いいえ | |

4. その他